



の報告

14日(土) はれ晴れの日



年末を飾る作品展が開かれました。即売会を兼ねており。売り上げの一部は、多摩サボ運営費にご寄付いただきますので大変ありがたく感謝しております。クリスマス前なので、プレゼント用に手芸小物は大人気、楽しいお買い物が出来ました。



あみもの・縫い縫いグループ
パッチワーク、手芸愛好者
あみもの・縫物愛好者等、
食品づくり等、提供者は二十人



《12月のウォーキング》

暖かい日差しをあびながら、サクサクと落葉を踏み南野～豊ヶ丘～落合と歩いて来ました。途中お蕎麦屋さんに寄り楽しい一日でした。

《歌の会》

クリスマスソングなど、島田瑠璃子さん作成の懐メロ収録歌集の中から、冬の歌16曲を山澤先生のピアノに合わせて歌い切り、手作りケーキとカフェオレでフィナーレでした。

《いち俳句を楽しむ会》 十二月八日

今年最後の句会。体調を崩して欠席された方もありました。夫々に句に対する助言から直しまで真剣に取り組ました。句会だから気付かなかった点を指摘し合いました。次回は一月二十日です。

- ・子を背負い日暮れて辿る枯野道
- ・冬椿ギターポツンと鳴らす指
- ・いやなこと炬燵の中に忘れじか
- ・早天や霜の花咲くオンネトー
- ・青年よ流木拾ふ冬の浜
- ・初時雨朝日に光る軒端かな
- ・カレンダー残り一枚惜しむ暮
- ・ゆたんぼの温もり残る目覚めかな
- ・冬の蠅五日目窓におりにけり
- ・いつもなら見落している歩く秋
- ・落ち葉舞うプレリウドには雨の音

- (美恵子)
- (満利子)
- (節子)
- (啓)
- (操子)
- (美恵子)
- (忠夫)
- (むつみ)
- (操子)
- (満利子)
- (啓)

《創作川柳》 令和六年十二月投句より

川柳で世相を切り取りながらの十二月。来年はどんな年になるでしょう？

- ・ノーマアとオスロで沸いた平和賞
- ・自説曲げ詭弁を学び総理完成
- ・ナベツネも他界行きは拒めずに
- ・妻と行く師走の買い物物げにせわし

- (迷夢)
- (流風)
- (脱兎)
- (迷楽)

- ・冬ぬくし心ゆたかな亡き母よ
- ・大根の値上り嘆く立ち話
- ・古民家の障子の紙の真新らし
- ・落ち葉積む大地の温もり誰のもの
- ・冬晴れに他界の君の偲ぶるる
- ・オロロンライン北へと続く冬の道
- ・紅葉の切り取り迷ふシャッター音
- ・冬空に枯木と葉っぱと似合いをり
- ・初冬や湯の有難さ思い知る
- ・短日や午後の診療日を失くし

- (節子)
- (忠夫)
- (操子)
- (むつみ)
- (忠夫)
- (啓)
- (むつみ)
- (満利子)
- (美恵子)
- (節子)

*前号に誤りがありました、目を閉じて色なき秋の香さがす(真理子)は(満利子)でした。訂正し、お詫び申し上げます。

- ・これからは運転無人車とはおお怖い
- ・まだ休戦戒厳令が生きていた
- ・通訳が先ず笑ってる大物
- ・闇バイト手にしたカネは閻魔の手

- (脱兎)
- (流風)
- (迷楽)
- (迷夢)